

# 木津川市教育委員会会議録

令和8年第1回木津川市教育委員会定例会

○日 時：令和8年1月26日（月） 午前9時30分から午前10時20分まで

○場 所：木津川市役所 5階 全員協議会室

○出席者：竹本充代教育長、小松信夫委員、佐脇貞憲委員、皆川麻紀委員、智原江美委員

（事務局）吉岡こども未来部長、平井教育部長、山口理事、雑賀理事、福井教育部次長兼教育総務課長、東村教育部次長兼学校教育課長、松井教育部次長兼文化財保護課長、中島社会教育課長

## 1. 開 会 教育長

教育長あいさつ

## 2. 前回会議録の承認

委員から次の通り意見があった。

- 3ページ中委員の発言「木津川市では保護者の不安などどうなっているか。」と記載されているが、発言の意図は「保護者の不安な思いに対して、どういった対応をとっているか」を問うたものである。

この点について、教育長が事務局に修正を指示し異議なく承認された。

## 3. 議 事

次の議案については、市議会提出前であることから、教育長が、木津川市教育委員会会議規則第12条第1項第4号に該当するため非公開とすることを発議した。

委員全員賛成のため、会議は非公開とし、会議録については事務の執行に支障が生じなくなった時点で公表する。

《議案第1号 木津川市文化財保護条例の一部改正について》

教育長が、事務局に説明を求めた。

事務局が、議案書に基づき説明を行った。

[説明]

市等の指定を受けていない文化財について、登録制度を新設する。指定制度を補完するものであり、基準に該当するものについて保存活用を図っていくため、所要の改正を行うも

の。

#### 【質疑】

教育長：令和8年第1回市議会定例会に上程される予定であるため、市長から意見聴取の通知があった。

委員：数多くの文化財を保有する木津川市にとって、よい制度であると思う。他市町で同様の制度を運用しているところはあるのか。

事務局：昨年度近隣の調査を実施した。京都府内では京都市、福知山市、宇治田原町、与謝野町など、制度の名称は違うが指定文化財ではないものに対する制度がある。大阪府の枚方市、吹田市、泉大津市にもある。

教育長：自治体により状況は様々違いがある。木津川市は文化財が多く、指定に至らないもの、隠れているものも多い。そういった文化財を登録し、守っていくための制度である。母数が大きいため、数が多くなることも懸念されるが、文化財保護審議会に諮り、価値を見極めて登録していくことになる。

委員：今回の改正で「登録」に関して条項を追加することについては理解したが、具体的に「指定」「登録」の違いがわからない。補助金の関係もあると思うが、この件の周知、広報等はどのように考えているか。

事務局：市議会に条例案を上程する際には住民の方の目に入ると思われるが、今のところ特段周知、広報する予定はない。登録基準を満たしているかどうか、調査し、審査していく過程や、文化財についての相談を受け付ける中で周知していきたいと考えている。また文化財を指定する際にはプレス発表をしているので、登録する際にも同様にしていきたいと考えている。

#### 【採決】

教育長が議案第1号について採決を行い、全員一致で可決された。

非公開とする案件が終了したため、教育長が会議を非公開とするものの終了を宣言した。

#### 《議案第2号 木津川市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書（令和6年度実施事業）について》

教育長が、事務局に説明を求めた。

事務局が、議案書に基づき説明を行った。

#### 〔説明〕

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価し、報告書を市議会に提出し、公表するもの。主な事業について説明。

## 【質疑】

教育長：主な事業について事務局から説明があったが、補足する。第2次木津川市教育振興基本計画の重点目標6項目に基づき、実施事業を分類し、そのうち主なものを報告書に記載し評価している。令和6年度の実績を踏まえて、すでに令和7年度の事業を実施しているため、現状進んでいる事業もあるが、この報告書は令和6年度時点の事業について評価している。また学識経験者からの助言として、有識者に総評を依頼している。

事業を推進するにあたって、事業効果を高めるためスクラップ&ビルドが必要であるが、教育分野はスクラップできることが少ない。そのため、事業推進の方法を検討するためにも自己点検、評価が必要である。

有識者からは強化する点や取組みに対して評価できる点などが挙げられている。委員からも意見をいただきたい。

委員：毎年実施されているが、前回の評価を受けて改善した点、また方向性が決定した、施策が進んだなど、点検・評価することで良い点はあるか。

事務局：学校施設の整備については、評価内容を検討し、次年度以降計画的に工事等が進捗するよう参考にしている。

事務局：学校教育課は所管する範囲が広いが、不登校対策についての指摘を受け、令和7年度からさらに施策を充実させるため、校内サポートルームを小中学校全校に開設した。学校図書館についても言及されているが、学校、学校教育指導主事などで構成するこどもの読書活動推進委員会で検討されている内容を踏まえて学校図書館の充実等を進めている。

教育長：不登校、いじめ問題など課題は多いが、着実に対策を進めている。

事務局：社会教育課が所管している施設は数が多く、合併前に建設されたものも多く、老朽化している施設の長寿命化のため重点的に整備している。またソフト面の取組みについても点検し、文化施設などで市民向けの講座内容が重複しないよう工夫し、互いに補完し合えるように考慮しながら事業を実施している。

教育長：市の監査でも事業の重複については指摘があった。できるだけ多くの市民が生涯学習活動の場を広げられるよう、施設間の連携など進めていく。

事務局：文化財に関する事業については、基本的に継続し、時間をかけて取り組むべきものが多い。例えば、恭仁宮跡の特別史跡昇格に関わって、恭仁宮跡保存活用計画がパブリックコメントを経て策定し、それを踏まえて答申が出された。また市で管理している遺物が多く、保存場所が点在している状況である。その課題を解消するため保管場所を兼ねた公開型管理施設に向けて着手している。

委員：外国籍の子どもに対するサポートが話題になっていたが、令和7年度になって急に出てきた問題なのか、以前から取り組んでいるが掲載されていないだけなのか。

事務局：これまでから学校で手当している。必要に応じて支援員の配置やポケットークを使

用している。外国籍の子どもの転入の増加は令和6～7年度から顕著になった。どのようにフォローしていくか、これからの課題でもあるが、これまでもその時々で対応を検討し、予算要求などしている。今後も重点的な課題、視点の一つとして対応を進めていく。

委員：報告書には主だった事業しか掲載していないのか。

事務局：重点目標に沿って事業を分類している。事業実績の数が多いので、ピックアップしたものを報告書に掲載しているため、掲載していない事業も多数ある。

教育長：外国籍の子どもの対応については重点目標2に入る。言葉の壁の問題もあり、対応が必要であると認識している。数も増加しているが、対応が必要な内容も様々であり、個別に対応している。

事務局：重点目標2は、道徳教育にも関連する。相談員やカウンセラーも配置しており、外国籍の子どもの対応については令和7年度は重点的に取り組んでいる。また外国籍の子どもだけではなく、様々な子どもの支援にも取り組んでいる。

#### 【採決】

教育長が議案第2号について採決を行い、全員一致で承認された。

#### 4. 教育長報告（令和7年12月27日～令和8年1月26日）

教育長が、事業報告に基づき報告を行った。中でも次の点について、説明があった。

- ・ 1月6日 相楽中部消防組合出初式に出席した。令和7年度末には新庁舎が完成するため、来年度の出初式は庁舎で実施される予定と聞いている。
- ・ 1月8日 チアダンスティアラの表敬訪問を受けた。小学校1年から4年、5・6年生のチームそれぞれが全国大会で1位、3位であった。
- ・ 1月10日 令和7年度二十歳のつどいに出席した。なら100年会館で、5中学校が一堂に会しての開催となった。
- ・ 1月11日 木津川市消防団出初式に出席した。団員表彰や放水などが実施された。
- ・ 1月15日 相楽地方学校保健研究大会に出席した。相楽地方の小中高、支援学校の養護教諭などが参加している研究会で、藍野大学谷川氏による講演では感染症、オーバードーズなどの問題やICT教育を進めているが、正しい姿勢に注意することが必要であるなどの話があった。
- ・ 1月16日 令和7年度市町村教育委員会研究協議会がオンラインで開催され、委員にも出席いただいた。
- ・ 1月17日 恭仁宮特別史跡昇格記念講演×トークライブに参加した。府の文化財保護課や奈良文化財研究所員からの基調講演では平城京から遷都された意義や国分寺建立の詔が発せられたことなどについて話があった。
- ・ 1月18日 ふれあい文化講座に参加した。同志社大学が発掘している塚穴公園などにつ

いての講演であった。

- ・ 1月21日 叙勲の伝達を行った。
- ・ 1月23日 社会を明るくする運動作文コンテストで京都府知事賞を受賞した児童の受賞報告会に出席した。受賞した作文の文章、内容ともよかった。
- ・ 1月24日 第12回当尾文化祭が地域の方が中心となり開催され、参加した。泉川中学校と南加茂台小学校が地域学習や平和学習での成果の展示もされていた。
- ・ 1月25日 令和7年度木津川市民駅伝大会に出席した。小学生21、中学生5、大人5チームが参加され、たくさんの応援のもと、懸命にタスキをつないで走る姿がとてもよかった。

## 5. その他

### (1) 今後の行事予定

事務局が、今後の行事予定について説明を行った。

#### 【質疑】

委員：市町村トップセミナーとはどのようなものか。

教育長：新たな行政課題や時事問題など、自治体職員のうち特別職などが対象の研修で、毎年実施されている。

委員：相楽少年の主張大会の日時、場所は。一般の観覧可能か。

事務局：加茂文化センターで午後1時30分からであり、観覧可能。

教育長：市の代表は何人出場するのか。

事務局：小中学校とも、市の大会での上位3人が出場する。

教育長：昨年度は府大会にも選抜されて参加している。

委員：全国大会などもあるのか。

事務局：昨年は府で2位であった。上位大会は府大会までである。

- (2) 次回教育委員会は、令和8年2月16日（月）午後1時30分に木津川市役所で開催することを確認した。

教育長が、会議を閉会した。